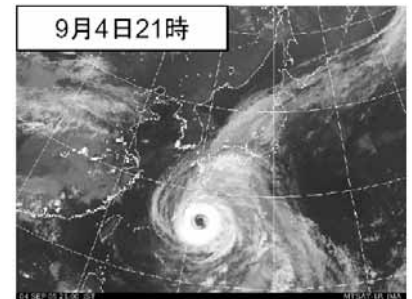
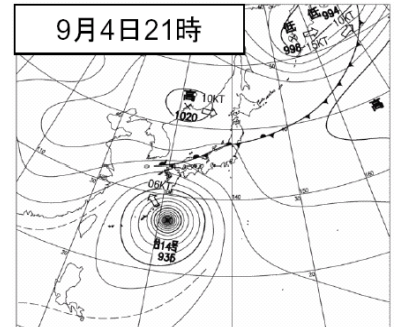
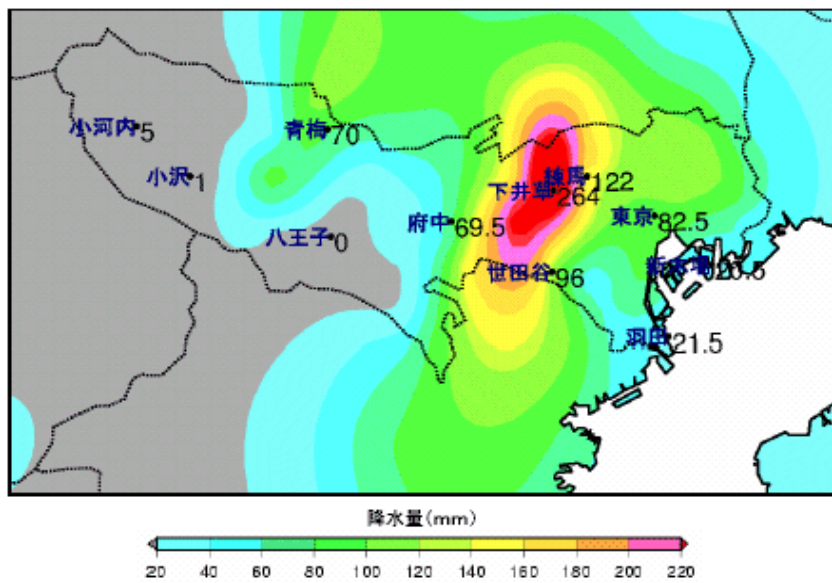


(3)平成 17 年 9 月 水害の概要

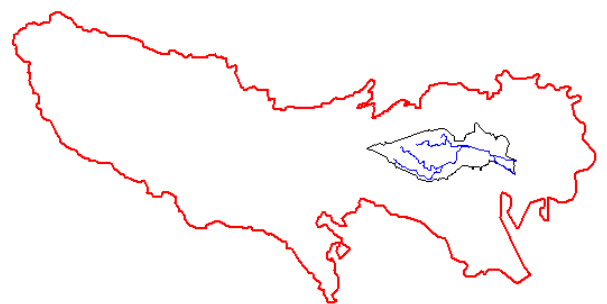
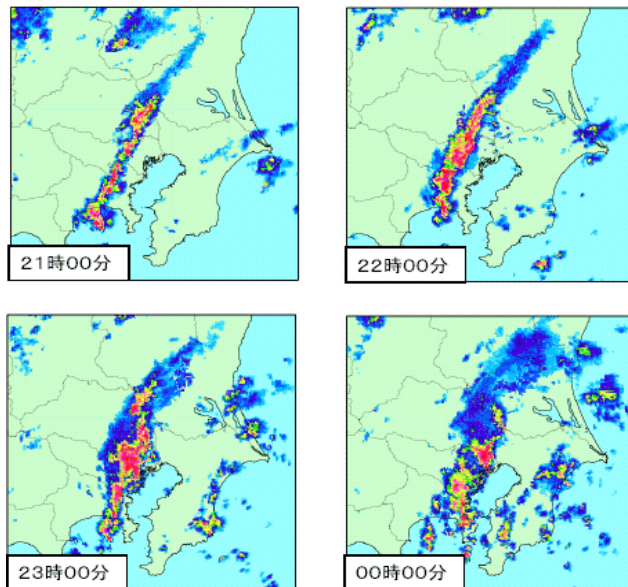
① 気象概況

2005年(平成17年)9月4日夕方から5日未明にかけて、台風周辺から秋雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、東京都、埼玉県、神奈川県で大気の状態が不安定となり雨雲が急速に発達したため、東京都と埼玉県では局地的に1時間100mmをこえる猛烈な雨が降った。この期間の降水量は、東京都が設置した雨量計のデータでは杉並区下井草で総雨量264mm、久我山で同240mm、練馬区石神井で同240mmとなった。



積算降水量分布図(平成17年9月4日12時~5日06時の合計)
(※アメダス、東京都及び杉並区のデータを使用)

地上天気図及び
気象衛星「ひまわり6号」赤外画像



東京都と神田川流域

←急激に発達した雷雲が数時間にわたって停滞したため局地的な大雨をもたらした。
この雨で、杉並区下井草(杉並区観測)では4日21時50分までの1時間に112mm、三鷹市新川(東京都観測)では4日22時20分までの1時間に105mmの猛烈な雨を記録した。

レーダによる雨雲の様子(9月4日21時~5日0時)
(レーダエコー強度図(全国合成レーダ))

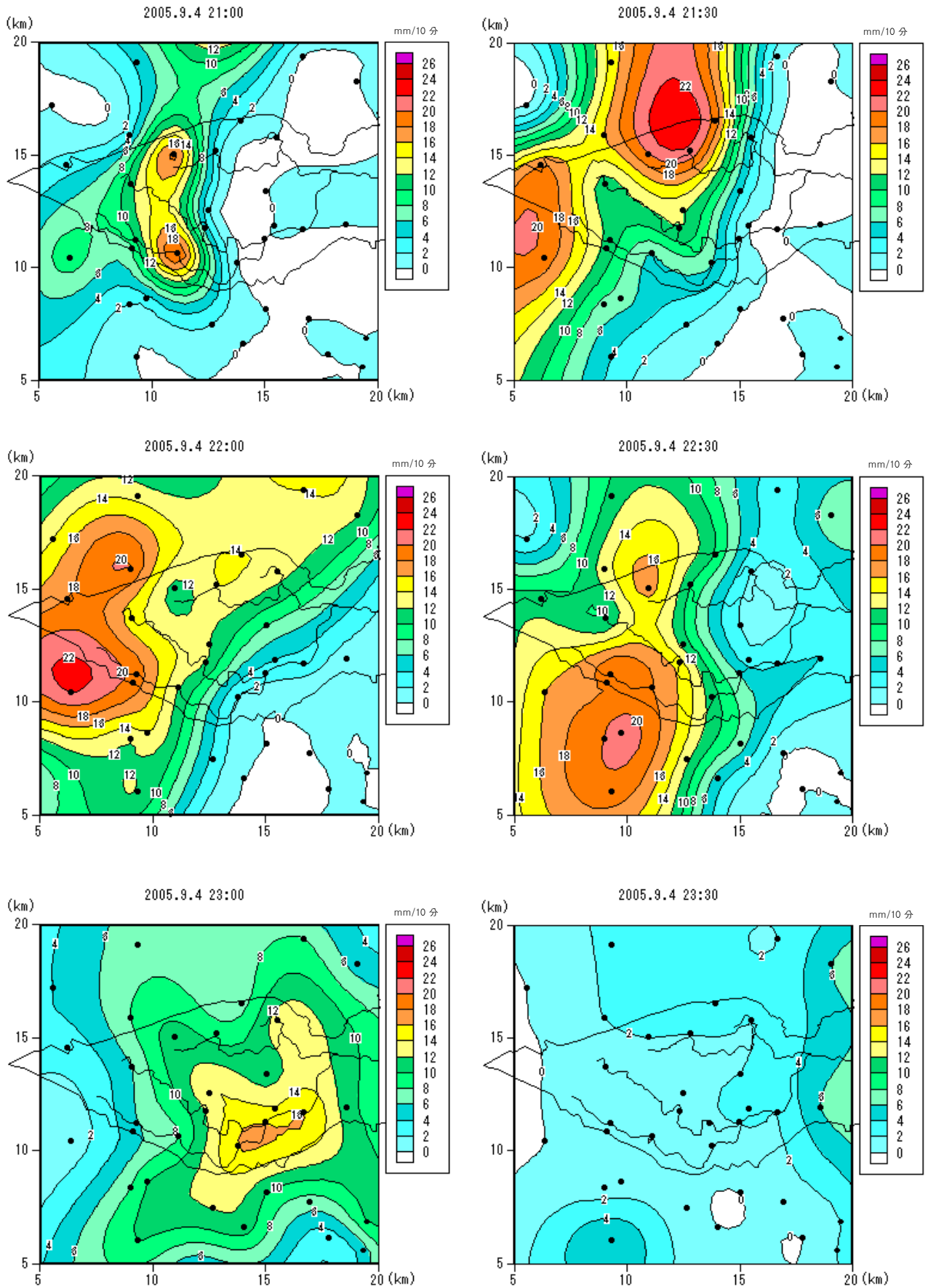


図 2-8 降雨分布の時間変化(神田川流域 10分雨量) (東京都観測データを基に作成)